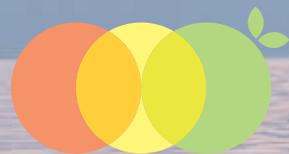


”くらしを、自分たちの手に取り戻す。”



m a m e n a

久比再生 - はじめに

まめなproject久比再生は久比の地域問題の解決と、私ども一般社団法人まめなが考えるこれからの村や町ひいては日本の地域（コミュニティ）の理想的なありかたを現実化するために提案、実行していくプロジェクトです。

現在の日本は生活の基盤となるべき地域（コミュニティ）が地方も都市も崩壊しつつあります。ここに至った原因は様々ありますが、中でも行き過ぎた資本主義経済の結果、1次産業から3次産業への偏重、都市への人口集中による、地方の人口減少・高齢化、一方で都市の過密化、核家族化・個々人の孤立化などが大きな要因となっています。

久比も現状は地方共通の問題を抱えていますが、ここには美しい自然環境と、畑、貴重な木造住宅、そしてここに住む人々の相互扶助のコミュニティがあります。この貴重な財産が失われないよう、そして未来にむけて人が人として安心して楽しく仕事ができ、生活ができる環境を創りたいと思います。

今の地域課題

利便性を金銭
享受して失った自活力

弱者を置き去り
にする集合心理

周りの顔が
見えない孤立感

都市の歪み

束縛し、時間に追われ
働くことを強いる場所

失われた自然

行きすぎた資本主義経済の結果、
失われてゆく真の豊かさ

人口流失と高齢化

耕作放棄農地の増加

共同体の劣化

地方の衰退

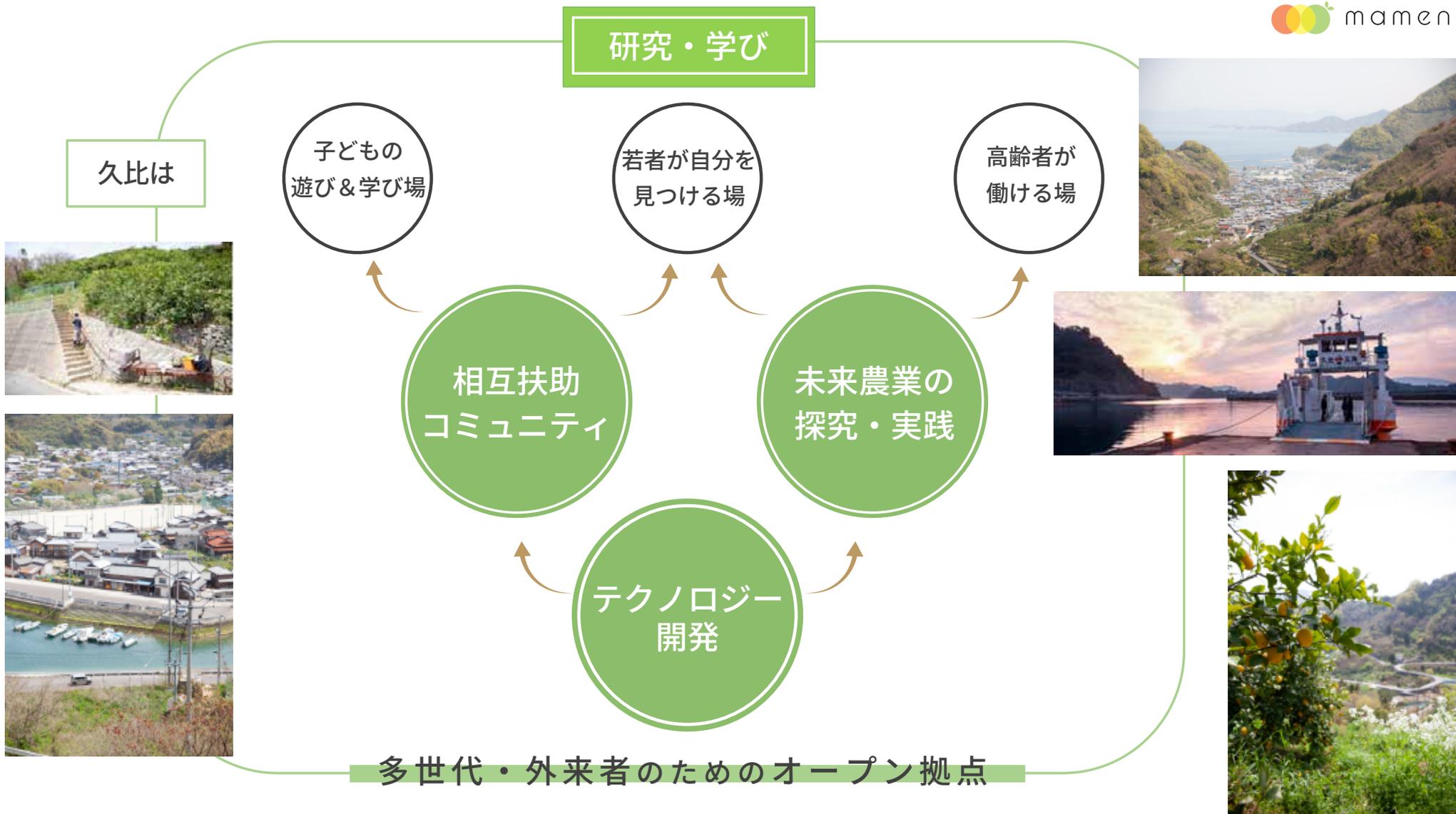
住環境や公共設備
の老朽化

地域産業の減退

取り残され、失われた
自信と未来への希望

解決は都市と地方の対立ではなく協調

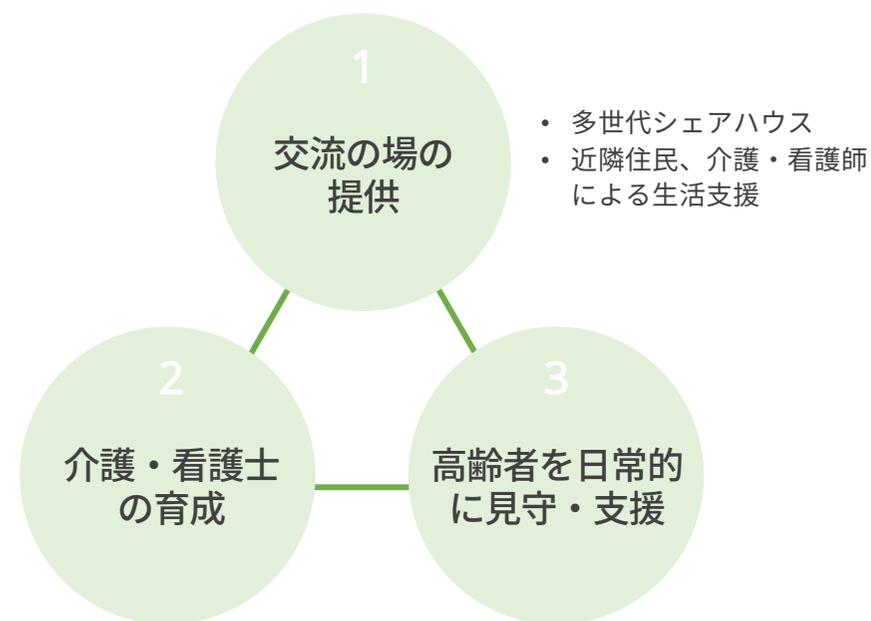
久比に、「相互扶助コミュニティ」と
これからのライフスタイル探究拠点を創る。



久比ならではの
目的特化①

相互扶助コミュニティ
||
「介護のない世界」を創る

街ぐるみの介護と介護予防



ダブルワーク、パラレル勤務による労働意欲の向上、維持

高齢者の自立期間（健康寿命）を延ばす

久比ならではの
目的特化②

未来農業の探究と実践



多様な農法研究

有機栽培はじめ生物多様性を維持するためのさまざまな農法



農地形状の研究

水脈を活かした農地



水質研究

水循環と最適な水



土質研究

土中細菌、微量物質、最適土壌の研究

真の循環型農業の探求



久比ならではの
目的特化③

テクノロジー開発・調査、
実証実験が可能な拠点

高齢化 + 遠隔地 + 果樹農地

調査、実証実験が行えるので開発の精度向上と期間短縮が可能。
地域が実証実験に協力することで、新たな収入源を確立する。

1 Elder Tech

高齢者の生活支援のための
技術開発

2 Medical Tech

過疎、遠隔地の医療受診
のための技術開発

3 Agri Tech

未来農業のための技術開発

久比ならではの
目的特化④

子どものための遊び
(学び)の場

カリキュラムや学年のない学校

自身の特性を自分で見つける。
早くから“自分は何者か”を知り自分の得意領域を伸ばす。

「自主性」

子ども自身が自分の興味の持てるものを見つけ、探求する。

「先生はいらない」

大人は伴走者。子どもたちの相談相手。安全の確保。

「だれでも一緒に」

さまざまなハンディキャップ（差異）で分けしない



改修イメージ*



実装したい機能・施設①



コミュニティ
スペース



地産地消
レストラン



コワーキング
スペース

*改修の基本：

外観、内装とも現状の良さを最大限引き出すことを目的とした改修。
現状の構造や建具を極力生かす。



テクノロジー開発
ラボ・ファブ



大人の遊び場
(研究)



農業生産物等
加工場



実装したい機能・施設③



- ・ デュアル生活
- ・ 農泊など宿泊

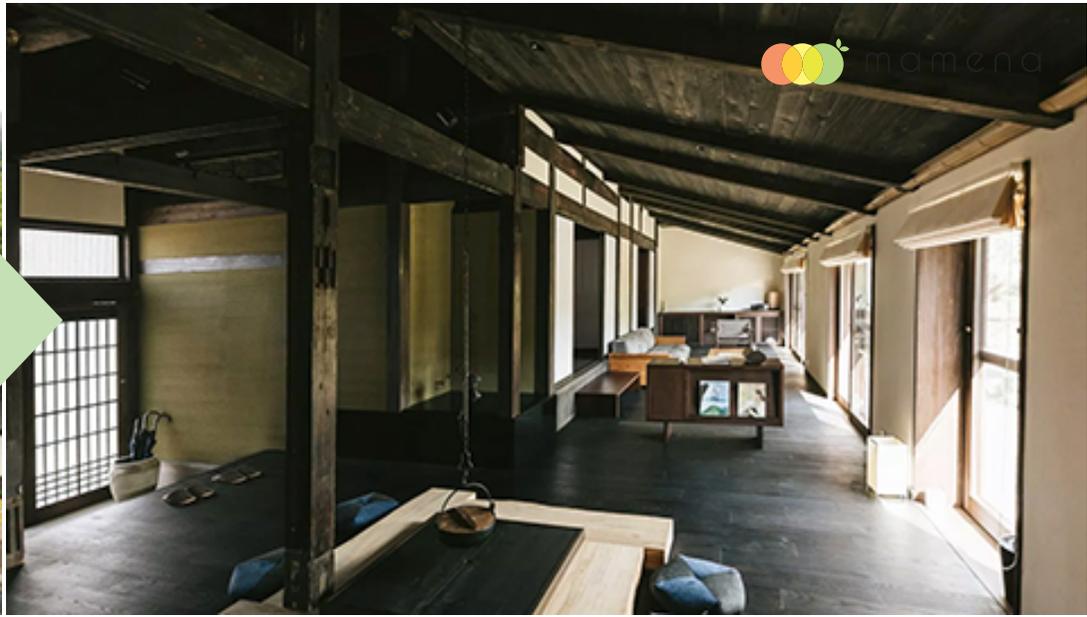


アトリエ



サイクリストの
レストポイント

寒暖調整は、構造や断熱材で工夫し、最低限の冷暖房設備で十分心地良い環境を創出。水回りについては清潔に配慮し最先端の利便性を確保する。



子どもから高齢者まで、遊び（学び）の場
生涯学習



図書館



憩いとコミュニケーションの場

久比・三角に

明日の共同体を実現するポイント



- 共同体実現の担い手
- ● ソトモノの視点をまちづくりに活かす
- 地域経済の持続可能性は住民の自主的な取り組みと地域個人や企業の支援

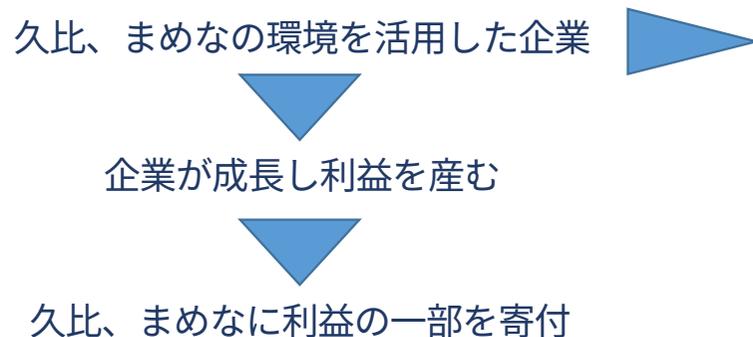


「稼げる」仕組み、稼いだ資金を再投資し、地域にお金の流れを生む

一般社団法人まめなは非営利団体で利益追求は目的ではありません

まめなを持続的に円滑に運営するために 新たなお金の流れを作る

① まめなの環境から誕生した事業体からの寄付



② 税金の配布ではなく、企業や個人が直接地域を支援する

①事例1 ナオライ株式会社

ナオライは三角島に拠点を構え、日本の酒蔵の再生と久比産レモンの増産活用を目指し、スパークリングレモン酒「MIKADO LEMON」を製造販売。

現在はさらなるレモン活用拡大の第2の製品を開発中。



①事例2 ナース&クラフト合同会社

地域のみなさんのための訪問看護サービスを提供。勤務体系や過剰労働から離職する看護師を、医療現場に復帰してもらうため、新しい勤務体系、ダブルワークを推奨。
看護師のみなさんと看護以外の事業も推進する。



②事例1 旧梶原医院の土地建物 寄贈

②事例2 クラウドファンディングなどによる寄付

組織概要



名称	一般社団法人まめな
設立	2019年3月1日
所在地	広島県呉市呉市豊町久比681
東京事業所	東京都文京区本郷三丁目40-10 三翔ビル7F
連絡先	info@mamena.or.jp
代表理事	会長 梶岡 秀 副会長 更科 安春 〃 三宅 紘一郎
理事	深澤 裕之 嶋根 秀幸 安彦 恵里香 元木 昭宏 崎原 一成 崎原 孝成
監社	事員 小野田 峻 ミスルトウ株式会社 ナオライ株式会社



梶岡 秀

久比盛り上げ隊
1947年生まれ 広島県豊町久比出身

経歴

広島県立西部工業技術センターでの試験研究、科学技術振興機構の地方機関での研究開発支援を経て、2012年帰郷。耕作放棄地の再生や引き継いだ柑橘園でのオーガニック栽培に取り組む。一方、超高齢化の久比の現状を何とかできないかとの思いから、2016年、島外の方との繋がりを求め島情報を発信する「久比盛り上げ隊」を立ち上げる。



三宅 紘一郎

ナオライ株式会社 代表取締役
1983年生まれ 広島県呉市出身

経歴

大学在学中に上海交通大学に交換留学し、卒業後も9年間上海で過ごす。2014年帰国。ソーシャルスタートアップアクセレータープログラム SUSANOO一期生に選出され2015年、三角島に本拠地を置くナオライ株式会社を創業。スパークリングレモン酒 MIKADO LEMON の開発等、日本酒酒蔵の多様性を未来に引き継ぐための事業を展開中。



深澤 裕之

LifePicks 代表
1979年生まれ 長野県須坂市出身

経歴

家業である機械加工分野から介護業界へ転身、福祉用具専門相談員として介護現場を経験。その後、フリーランサーとして、シニア向けフリーペーパーの発行、介護系Webメディアの運営、「介護のほんねニュース」への寄稿、介護プロダクト開発アドバイザー、介護専門職のための総合情報誌のディレクターなどを務める。



更科 安春

MISTLETOE プロデューサー
1955年生まれ 東京都江東区出身

経歴

海運業、印刷・制作業を経験したのち、株式会社イッセイミヤケにて総務人事、広報、知的財産等管理部門から、ブランドマネジメントを経験。その後IT業界へ転職、2002年に株式会社 i-support を設立。インターネットコンサルティングを基軸にクライアントへ各種ソリューション提供。2017年 MISTLETOE 株式会社にて介護プロジェクトを中心に活動中。